

**令和3年度 第1回 明石市文化財保存活用協議会
議事概要**

I. 日 時：令和3年6月1日（火）14:00～15:30

II. 場 所：市立文化博物館2階大会議室

III. 出席者

区分 (法第183条9第2項)	氏名	所属・役職	備考
明石市（第1号）	前野 有人	明石市政策局参与（シティプロデューサー）	
兵庫県（第2号）	甲斐 昭光	兵庫県教育委員会文化財課長	
学識経験者（第4号）	村上 裕道	京都橘大学 教授	会長
	森本 眞一	神戸学院大学 非常勤講師	副会長
商工関係団体（第4号）	西川 勉	明石商工会議所 事務局長	
観光関係団体（第4号）	檉原 一法	明石観光協会専務理事	
その他教育委員会が必要と認める者（第4号）	西海 英延	文化財所有者：宗教法人住吉神社 宮司	
	藤本 庸文	明石市連合まちづくり会協議会副会長	
オブザーバー	山下 史朗	兵庫県企画県民部地域創生局参事	

事務局：明石市市民生活局文化・スポーツ室

（岩崎充臣市民協働・生活部長、

小林秀史文化・スポーツ室長、

稲原昭嘉文化財担当課長、田川聡司歴史文化財係長）

明石観光協会（木村公輔事務局次長）

明石政策局シティセールス推進室シティセールス課（藤田幸子室長兼課長）

明石市都市局都市整備室都市総務課（谷口祐二課長）

明石市教育委員会学校教育課（金井一郎課長）

事務局補佐：株式会社スペースビジョン研究所（宮前洋一、宮前保子）

傍聴者：傍聴中止のため無し

IV. 資料

- ・次第・出席者名簿
- ・明石市文化財保存活用地域計画（素案）
- ・明石市文化財保存活用地域計画作成スケジュール

V. 議事概要

1. 開会

2. 議事

【議事（1）明石市文化財保存活用地域計画の素案について】

村上委員：本日は素案について忌憚のないご意見をお願いしたい。それでは前野委員から順にお願いしたい。

前野委員：序章3頁に書かれているKPIの指標であるが、地方創生推進交付金などでは、来館者数、視聴数など、時系列で伸びているものを使っているの、ここでも採用してはどうかと考えた。なぜなら、来館者数はコロナ禍で去年、今年とかなり低い。恐らく来年からは徐々に回復していくと思われる。KPIを設定したら伸びていくことが良くわかるのではないかと考えた。オンライン発信は新しく始めるとゼロから伸びていくので、運用の仕方によっては良い方向にもっていけるのではないかと考えた。

村上会長：事務局はどうか。

事務局：現段階では、このままの指標で計画をまとめ、時期に応じて見直すこととする。

村上会長：数値目標の設定は事務局で考えるよう、この協議会で伝えたいと思う。設定した値は緩やかに伸びていってもすぐに目標値に達する。2～3年後には目標値を変える必要が出てくる。ただ、4～5年で落ち着いてくると思われる。計画改定時期には、目標値も変更する必要があるだろう。そうするとだんだん目標値を達成するのが難しくなる。ただ、イレギュラーな事態が発生して、目標値が使えなくなるのであれば、おきかえる必要が出てくる。そのことについて事務局で検討して頂きたい。

樫原委員：今回、52頁に玉子焼の登録文化財への登録について記載されており、良かったと思っている。早速、日本こなもん協会に文化庁から食文化ストーリー創発信モデル事業に参加できないかという話があった。今年度は申請は間に合わなかったが、次年度以降、事業に応募したいと考えており、早速調査を進めたい。

村上会長：食文化については文化庁も着目しているので、玉子焼以外にも明石を代表する食文化があれば追加で記載してはどうか。食文化を示すレパートリーが明石にはたくさんあるのだと発信することも重要である。観光サイドや商工会議所から候補を提示してもらえば、記載を追加できる。事務局からも問い合わせしてほしい。

西川委員：先ほど事務局の説明で大型バスの駐車場が必要であるとの記載を削除したとあるが。

事務局：87頁の(3)①の課題の6つめの項目に、大型バスや乗用車の駐車場が少ないという記述があったが、前回の協議会で、大型バスの需要は激減しているので駐車場の整備は課題にならなくなっているという意見があり、それに対応して大型バスの駐車場が少ないという記載は削除した。

西川委員：会員の事業者アンケートをとるとJR明石駅周辺に大型バスの駐車場が必要であるとの意見が毎年必ず、あがってくる。明石公園も停めにくいし、大蔵海岸は遠い。銀座通りに一時停車の区画はあるが事業者からは駐車場整備の要望があがってくる。

村上会長：大型バスの乗降場所があった方がよいのか、駐車場があった方がよいのかどちらの要望が多いのか。

西川委員：駐車スペースがあった方が良くと思うが、最低、乗降場所が必要かと思う。

村上会長：駐車場の整備はむつかしくても、乗降する場所があることを記載するなど、実際の使い方に
みあった表現としてはどうか。

樫原委員：前回、団体ツアーが減っているので大型バスの駐車場は必要ないとの意見を申し上げた。観
光からいうと、大型駐車場は十分足りている。歴史文化遺産周辺の駐車場や乗降場所は必要
と思われるので、大型バスという表現は削除してもらいたいとお願いした。

村上会長：大型バス駐車場の整備は削除しても、乗降場所の確保などを記載するなど工夫されたい。

西川委員：概要版の作成とあるがどんなものを作成するかがとても重要である。

村上会長：概要版はどのように考えているのか。各章の扉に概要を記載しているが。

事務局：ダイジェスト版でわかりやすいものを考えている。第3回協議会で協議する予定である。

村上会長：素案にも各章にダイジェストがあるが、市民に伝わるように、どこをクローズアップするか
が重要と思うので、その時までには検討すること。何頁程度と考えているのか。

事務局：4頁程度を考えている。

甲斐委員：章の概要の件であるが、第1章の要約には旧石器時代から人が住み始めるとあるので、本文
にも記載を追記されたい。また、土師器のことが書かれているが、本文にないので追記され
たい。また、7章の重点区域を設定する目的も要約にないので、本文の記載を追記した方が
よい。文化庁の指針には、「より魅力的な空間創出を期待し」とあるが、こうした内容を追記
することも考えられる。102頁に重点区域の文化財の件数が記載されているが、重点区域の
件数が市域全体の何割程度かを記載することによって、より集積していることがわかりやす
いので追加してはどうか。その他、気づいた点はメモを事務局に提示する。

森本委員：明石駅前南に看板があり市域の地図がある。神戸新聞に兵庫の城という特集があつて、4月
1日の第1回が明石城、第5回が船上城であつた。新聞を見て、明石に来る人もいるが、外
堀がどこかという話になった。地図でも明石城全体のことが分かればよいなという感想をも
った。人材育成の件であるが、昨年、地域の教材として社会科の先生方が小学校区の歴史文
化遺産などに関わる冊子を作っている。こうした取り組みはこれから大事なことだと思う。
また、研修会であるが、市の新任教員50名を対象に研修会を実施しているが、新任以外の教
員も対象を広げてはどうか。まちづくりに関係して、魚住小学校区のまちづくり協議会では
看板をつくっている。これまでに6つ作ったが、それを小学校2年生が町探検ということで
看板を利用して学級毎に地域を回っている。看板の活用も重要である。また、朝霧川をさか
のぼるフィールドワークもしている。コミュニティスクールの一環の取り組みであるが、文
化財を利用してもらうことが大切である。生涯学習でも学んだことを活かしたいという人が
いらっしゃるので、そうした人とどう連携するかが大切である。播磨町では図書館を使った
調べ学習のコンクールがある。今は明石で学んだことを播磨町に持っていつているが、これ
を明石でもやってはどうかと思う。高齢者が一度調べたことを発表する会を実施することで
活動が広がっていくのではないかと考える。

村上会長：明石市は生涯学習活動が活発である。森本委員の見せられた冊子の写真だけでも地域計画に
いれてはどうか。また、図書館の活動が広がっている。市民が集落単位で調べる活動がある
が、図書館にそれを持ち込んでいくことも考えられる。森本委員のご意見にもあつたので、
図書館活動についても、どこかにその旨を追加してはどうか。

西海委員：文化財所有者としての感想を述べたい。住吉神社には能舞台があるが、明石市内で現存の唯

一の能舞台であるが、明石城 400 年より 7 年新しい建物である。平成 3 年に改修した。文化財は残す意味が改修でよくわかった。4 本柱の西の 1 本がかくれんぼや缶蹴りの跡が残っていた。建物が残っていることにとっても意味があることが理解できた。また、文化財を保存して活用する意味がこの協議会の会議に出席してよくわかった。能舞台は改修してから活用が活発になっている。能楽会だけでなく正月に和太鼓を鳴らしたり、神楽を舞ったり、餅まき、2 月に豆まき、5 月の地域の人々の創作能楽会に使っている。昭和 49 年から地元の人が能楽で使用しているがまさに地域の能舞台になっている。残念なこともある。住吉神社には応挙の絵があるが、拝殿から外からよく見える所に掲げていた。盗難などの心配もあり、現在は文化博物館に保管してもらっている。神社に複製があれば良いが、財政的なこともあり、取組めていない。応挙の絵は春祭りの際に神社に戻ってくるが、絵馬の前で寝泊まりするほど気を使っている。日本画家の東山魁夷は「古いもののない町は思い出のない町である」と言っている。古いものがあるところは思い出がある。応挙の絵については、地域の美術を学んでいる人が 2 年間かけて複製の絵を描いてくれたが、地域の人が書いてくれたからこそその愛着がある。文化財は保存管理、活用により愛着が生まれる。ただ、残念なことは本物が地域になくなってしまうことである。

村上会長：今のご意見は、73 頁の交流・情報発信か 71 頁の保存活用か、に記載してはどうか。キーワードは地域の取組、愛着など基本的なことであると思う。

藤本委員：24 頁②の奈良時代の項に、地元では億計弘計（おけをけ）王子の伝承があるが、ここに記載してはどうか。王子権現や清水神社にも、宗賢神社にもあるので、記載を入れていただきたい。古墳時代ではないか。485 年位である。

村上会長：今の意見を追加すること。

山下委員：計画期間が令和 4 年からということであり、93 頁の措置であげられている事業が、継続がほとんどである。新規事業が令和 6 年以降になっていずいぶん先にみえる。動いていないように見えるので、継続ではなく、拡充などと表現するなど、新しいことを取り組むようにしてはどうか。学校でもできることをやっていくというのであれば、一年目から始めてもいいのではないか。重点地域のことであるが、1 年目から措置を始めるのは難しいのは理解できる。しかし、例えば明石城については 400 周年から県も力を入れてきれいになりつつある。県への要望も記載してはどうか。東側は鬱蒼としているが、箱堀などの明石城内の見所もあるので、伐採すると気持ちよくなる。記載できるかどうかは別として、市から県に要望や情報を出してはどうか。

村上会長：108～109 頁の重点区域の図であるが、お城の範囲が小さくみえる。外堀がここのあたりにあってということが今の図から見えないので、色のつけかたや表記の仕方などを工夫してはどうか。また、城と港を結ぶ南北軸のイメージもわかりにくいので図に明示してはどうか。港から台場があって、ということが出来る自治体は希少であるのでイメージが伝わるようにしてはどうか。また 101 頁と 105 頁で四角囲みの表現が違うので整合をとるように。地域計画の記載に関わらず、その他として、意見はないか。

前野委員：観光協会に話があった明石焼の登録民俗文化財への登録は市シティセールス推進課にも話があったので、一緒に進めたい。

森本委員：81 頁に講や地蔵盆の調査は進んでいない地域があるので、こうした調査は今の段階でやっておく必要がある。一部の報告はあるが、きちんと調べておく必要があると思う。今回の地域

計画では無理であっても、調べておく必要があったらう。

藤本委員：船上城は船泊があったことが名前の由来である。こうした点は追記した方は良いと思う。

村上会長：そのことは記載しておいた方が良い。

山下委員：兵庫の津ミュージアムを整備している。その場所が兵庫城であった。港近くの入江に城があったことが共通しているので、連携をとりたいと思う。7頁の表に地域創生局を入れてもらったのでぜひ連携したい。

村上会長：市史編さんの過程で冊子を刊行をKPIで設定しているが、これを解説する会を開催するなど考えてはどうか。活用する活動が見えないのが課題である。そのため、説明会の開催をKPIとしてはどうか。市民に伝達する手段とリンクできる。参考資料は素案の後につくのか。

事務局：素案の後に参考資料として付くものである。

村上会長：今後は色々なところからの質問への対応や国の指摘などからの修正への対応など、計画作成が収れんしていくことになる。ところで県との協議がスケジュールにないが。

甲斐委員：協議会の委員として参加していることもあり、他の自治体でも特に協議はしていない。

村上会長：パブコメ前に県とは協議してはどうか。特に広域的なことも協議しておく必要があると思う。

9月の市議会の前に協議会を開催するとなっている。認定の作業は事務局で進める、最終の協議会は認定の確認作業ということであるが、それで良いか。シンポジウムはどうか。

事務局：委員にも参加してもらって、開催したいと考えている。

村上会長：シンポジウム開催には委員、協力願いたい。以上で審議は終了する。

3. その他

事務局：その他については特になし。

4. 閉会